

平成 18 年 12 月 28 日

基本構想、基本計画・都市マスタープラン骨子案に対する意見書

新宿区民会議 第 4 分科会

骨子案は、新しいまちづくり思想を意識して組み立てられた体系として、区民会議第 4 分科会提言の基本的な方向性が反映されていると考えます。また、「区民と専門家等によるチェックのしくみの創設」の提案は特筆すべきものです。

提言の内容を補完するため、以下の意見を述べます。

なお、本意見書における意見は、基本施策までに関する事項として取り扱っています。個別具体の第 4 分科会提言施策については、基本施策に基づく実施計画事業の検討の中で、その有効性を十分ご検討いただきたいと思います。

< 提案 >

1 まちづくりの基本目標

(P4)のまちづくりの基本目標の「提案の考え方」の「基本目標 4・5 は、『公共空間のハードの部分』を主に取り上げています」及び「基本目標 6 は、『公共空間のソフトの部分』を主に取り上げています」とあるが、抽象的でわかりにくい説明となっている。特に 4・5 は区別した説明がない。

このため、4 は「地球環境、生活環境」に、5 は「歴史的風土、自然環境」に、6 は「文化、伝統・産業」といった具体的でわかりやすい表現に変更する。

2 基本施策

(1) -1- 資源ゴミの分別収集の拡充

「資源ゴミ」の表現だが、資源はあくまでも資源であってゴミではない。自治体によっては資源ゴミと呼んでいるところもあるが、新宿区ではゴミは可燃ゴミ、不燃ゴミ、粗大ゴミの 3 分別で、古紙は資源として扱われている

このため、「資源ゴミ」の表現を「資源とゴミ」に変更する。

(2) -1- エネルギー循環型のまちづくり

私たちが提言しているのは「できるだけ環境に負荷を与えない、省エネ、低コストの資源循環型システム」である。そもそも「エネルギー循環」という言葉はないのではないかと。

このため、「省エネ、低コスト化の推進」に変更する。

(3) -1- 区民の省エネルギー意識の醸成

「意識の醸成」とは取り組みのファーストステップであり、10 年、20 年先を考えると次のステップも踏まえて、「事業者の省エネルギーへの取り組みの促進・支援」と同様に、「取り

組みの促進・支援」に表現を変更する。

(4) -1- 「地域参加型施策の推進」を追加する。

「環境学習情報センターの機能充実」とあるが、環境学習情報センターの果たす役割は大きく、多様化しているが、活用している区民が少ないのが現状。このため、より多くの区民が地域で参加できる施策を推進する必要がある。

(5) -3- 協働による福祉のまちづくりの推進

「福祉」は主に第 章や第 章で扱っており、個別目標の「人々の活動を支える都市空間を形成するまち」、基本施策の「だれもが自由に行動できる都市空間づくり」は、福祉を含めたもっと広義の意味合い。

このため、「協働による人にやさしいまちづくり」に変更する。

3 協働リーディングプロジェクト

プロジェクト1(P66)の「目標」の書き方が目標ではなく課題認識の内容になっているので、整理すべき。

4 区民と専門家等によるチェックのしくみの創設

(1) 評価の内容が明確ではないので、対象(政策レベルか事業レベルか)やサイクル(1年ごとか3年ごとか)についての具体的な青写真を提示すべきである。なお、区政運営の基本姿勢に「成果が見える区政運営」とあるので、政策レベルで3年サイクルが適当ではないか。

(2) チェックの役割は本来は議会であるため、議会との関係を整理して明記した方がよい。

<意見>

1 区民会議で提言した以下の施策は特に重要であると考えるので、実施計画事業の検討の際には、事業化をお願いしたい。

(1) 「拡大生産者責任の徹底」

今回は、-1- 「ゴミの発生抑制を基本とするゴミの減量とリサイクルの推進」に趣旨を盛り込んでいると理解する。

(2) 「自転車専用レーンの整備」

今回は、-3- 「自転車利用を支える都市環境づくり」に趣旨を盛り込んでいると理解する。

(3) 「新宿エコアクションの実施」

今回は、-1- 「事業者の省エネルギーへの取り組みの促進・支援」等に趣旨を盛り込んでいると理解する。

(4) 「地域通貨(エコマネー)の導入」

今回は、-1- 「環境保全型まちづくりの仕組みの構築」に趣旨を盛り込んでいると理解する。

2 その他、委員から出された主な意見

- ・「新宿力」、「まちの記憶」、「持続可能な都市」、「新宿らしさ」などの表現がわかりにくい。
- ・めざすまちの姿の「新宿力」の表現がわかりづらいので、「やすらぎとにぎわいのまち新宿の創造」に変更する。
(別に定義や解説が書かれているので、これらの表現で問題ないと思われる)
- ・基本目標 の「持続可能な都市と環境を創造するまち」の「都市」と「まち」が同じ意味の言葉なので、「都市」を削除する。
(「まち」は広義の「まちづくり」のことであり、この表現で問題ないと思われる)
- ・コスト削減とサービス向上のためゴミ・資源収集業務の民間委託化を位置づけるべき。
(コスト削減については、今回の提案2(2)の「低コスト化の推進」に趣旨が盛り込まれていると思われる)
- ・-1- 「環境学習情報センターの機能充実」に「各地域ごとの活動拠点の設定」を追加すべき。
(今回の提案2(4)の「地域参加型施策の推進」に趣旨が盛り込まれていると思われる)
- ・車の抜け道の規制や自転車の車道通行を徹底するため、歩行者優先のみちづくりをすべき。
(-3- 「人にやさしくわかりやすい道づくり」に趣旨を反映していると思われる)

以上